

# 子どもの體について

## 附屬幼稚園衛生室

今年はいつの年よりも春が待たれた様に思はれるがその春三月が早くも来てしまつた。もう新しい子ぎもを幼稚園に迎へる準備をしなければならぬ。非常時局に當り、子ぎもの健康について色々論議されてゐる折から、當園の身體検査の結果の身長、體重、胸圍、坐高を統計的にしらべてみた。當園のみの統計であるし、人數が少く、一般の標準といふ様なものには勿論なり難いが何かの参考にもなれば幸である。

第一表は單に身長、體重、胸圍、坐高の相加平均を出してみた。この表でわかることは、男兒と女兒を比較してみると、年少組に於いては身長、體重、胸圍、坐高の四つとも男兒が大きい、年長組になるに胸圍を除いた他の三つは女兒が大きいことである。この年齢位から女兒の方が早く成長するといふことがこゝにも現れてきてゐると思はれる。

第一表

		男 兒			女 兒		
		滿年	五長	歲組	滿年	五長	歲組
身長	平均	106	108	100	107	105	100
	人數	34	52	23	36		
體重	平均	16	15	16	14	15	14
	人數	34	52	23	36		
胸圍	平均	55	53	54	52	53	52
	人數	34	52	23	36		
座高	平均	58	58	61	58	59	58
	人數	33	51	22	34		

そこでこの表は四月末の身體検査の折のものであるが、二月半の入園檢定の折の結果と比較してみる。次にその表を掲げてみる。

この表をみる

男兒、女兒共に身長、胸圍の差がプラスである。ここに女兒に於いてその價が大きいのにたゞ體重のみ男女兒共々マイナスである。即ち四月になつて減つてゐる。この表に現

第二表

		男 兒	女 兒
身長	中旬	糶 99.81	糶 98.86
	下旬	100.72	100.43
	差	+0.91	+1.57
體重	中旬	疋 15.59	疋 14.97
	下旬	15.31	14.82
	差	-0.28	-0.15
胸圍	中旬	糶 52.68	糶 51.39
	下旬	58.96	58.51
	差	+6.01	+7.12

れた結果からのみ考へるに、春は長さの方に伸びる時期であるからかも知れない、が他の種々な原因をしらべて研究しなければ早くそうご決められはしないが注意されることである。

次に第一表は前にも言つた様に相加平均であつて、ほほ大抵の統計はこれを用ひる様であるが大きいもの、小さいものゝ程度を知る爲、次に表にしてみる。

第三表の平均を第一表の平均と比較してみるにその差は、年少組男兒の身長その他は大體に於いて一致してゐる。即ち相加平均に近い大きさのこどもが多いわけである。

第三表

		男 兒		女 兒	
		滿五 年長	滿四 年少	滿五 年長	滿四 年少
身長	最大	115.0糶	110.7糶	115.8糶	106.6糶
	最小	101.0	91.3	101.3	92.9
	平均	108.0	106.0	108.55	99.75
體重	最大	19.8疋	19.0疋	19.8疋	18.0疋
	最小	13.5	12.0	14.9	12.0
	平均	16.65	15.5	17.35	15.0
胸圍	最大	59.1糶	58.0糶	59.0糶	56.5糶
	最小	50.5	49.5	49.5	48.5
	平均	54.8	53.75	54.25	52.5
坐高	最大	66.8	64.3	66.2	61.9
	最小	55.7	54.0	58.4	53.8
	平均	61.25	59.15	62.3	57.85

これらの表は單に身體の言はば外觀上のこゝでこれをもつてたゞちに健康の如何を決めるわけにはゆかないけれども子にもあつては體重、胸圍などが健康の一つの目安になるわけであらうし、殊にその増加の割合はよく注意しなければならぬ事であらう。國民體位の向上がしきりに叫ばれてゐる。第二の國民の身體については今迄より一そう注意しなければならぬと思ふ。